

大会名称: **第14回東北大学バスケットボールリーグ
兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会**

開催場所: **東北学院大学 泉キャンパス体育館**

試合区分: **No. 4B2 1次リーグ** コミッショナー: **佐々木桂二**

期 日: **2016(H28)年9月4日(日)** 主審: **栗田充伯**

開始時間: **13:30** 副審: **川熊俊**

終了時間: **15:00**

山形大学 (一部 2位)	○	24 -st1- 11 19 -2nd- 26 24 -3rd- 8 22 -4th- 13 -OT1- -OT2- -OT3-	● 58 (一部 6位)	岩手大学 (一部 6位)
	89			

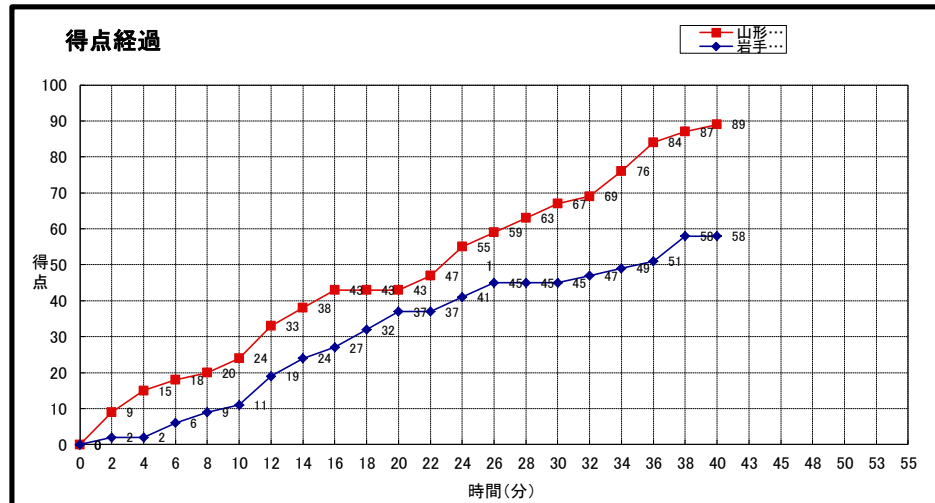
山形大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
12	*	高橋美穂	20	0	0	10	11	0	0	2	0	2	2	0	1	0	0	
7	*	島貫結夏	15	3	3	1	1	4	4	3	0	5	5	0	4	0	0	
9	*	高橋梨南	2	0	0	1	1	0	0	2	0	3	3	0	3	0	0	
13	*	島本悠加	22	2	2	8	8	0	0	1	9	10	0	6	0	0	0	
19	*	米川奈那重	16	2	2	4	3	2	2	1	1	2	3	0	1	0	0	
24	*	吉田園佳	10	0	0	4	4	2	2	2	4	8	12	0	6	0	0	
25	*	星野ひかり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
0		斗沢千咲	4	0	0	2	2	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	
TEAM																		
合 計			89	7	7	30	30	8	8	11	7	32	39	0	21	0	0	0:00
				100.0%		100.0%		100.0%										

岩手大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
13	*	木村穂希	6	0	0	3	3	0	0	1	3	13	16	0	1	0	0	
6	*	菅野遥暉	27	4	4	8	7	3	3	0	1	12	13	0	1	0	0	
12	*	斎藤尚子	10	1	1	2	2	3	3	4	0	4	4	0	1	0	0	
17	*	後藤悠真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
21	*	佐藤実祐	10	0	0	5	4	0	0	1	4	5	9	0	1	0	0	
24	*	佐々木祐帆	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	3	0	2	0	0	
29	*	中村直葉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
33	*	津川梓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
49	*	鈴木蒼子	5	1	1	1	1	0	0	3	1	2	3	0	0	0	0	
TEAM																		
合 計			58	6	6	17	17	6	6	11	10	38	48	0	6	0	0	0:00
				100.0%		100.0%		100.0%										

PST: ポイント FG: フィールドゴール F: ファウル TO: ターンオーバー MIN: 出場時間
M: 成功 3P: 3ポイントシュート OR: オフenseリバウンド AS: アシスト S: スターター
A: 試投 2P: 2ポイントシュート DR: ディフェンスリバウンド ST: ステイール OT: 延長
%: シュート率 FT: フリースロー TOT: トータルリバウンド BS: ブロックショット



ゲームレポート

○第一ピリオド 出だしから山形大学が連続得点を挙げ、バスケットカウントやフリースローなどでも確実に得点を決めて加点していく。対する岩手大学は、果敢にゴールまで攻めファールをもらいフリースローチャンスを得る。24-11と山形大学リードで第一ピリオド終了。○第二ピリオド 前半、岩手大学は#6菅野が3Pシュート、#12斎藤がバスケットカウントを決め自分たちの流れを取り戻す。一方、山形大学はゴールまで攻めてはいるものの、加点できずに第二ピリオド後半6分得点が止まる。岩手大学が喰らいつぐが山形大学はリードを許さず前半を折り返す。43-37。○第三ピリオド 開始早々、山形大学はディフェンスから流れを掴み確実に得点を重ねる。岩手大学は#13木村の1on1、#6菅野が3Pで攻めるが得点が決まらずリードを許す。山形大学のプレッシャーディフェンスにより岩手大学は第三ピリオド後半6分得点が止まる。67-45で山形大学がリードを守り抜き最終ピリオドへ。○第四ピリオド 山形大学#12高橋が確実にジャンプシュートを決め、勢いになる。その後も#19米川の3P、#13島本が加点をしていく。岩手大学#49鈴木が相手にフリースローを与え山形大学の流れは止まらず試合終了。89-53。
○まとめ 第一ピリオド、岩手大学は13点ビハインドで終了するものの第二ピリオド喰らいつき、自分たちの流れを取り戻し43-37と点差を詰め6点ビハインドで前半を終了。後半、山形大学はプレッシャーのあるディフェンスから流れを作り確実に得点を重ねる。そこから徐々に点差を離し後半勢いのあるオフenseでリードを守り切り、89-53で山形大学が勝利をおさめた。

担当者: ()

東北大学バスケットボール連盟